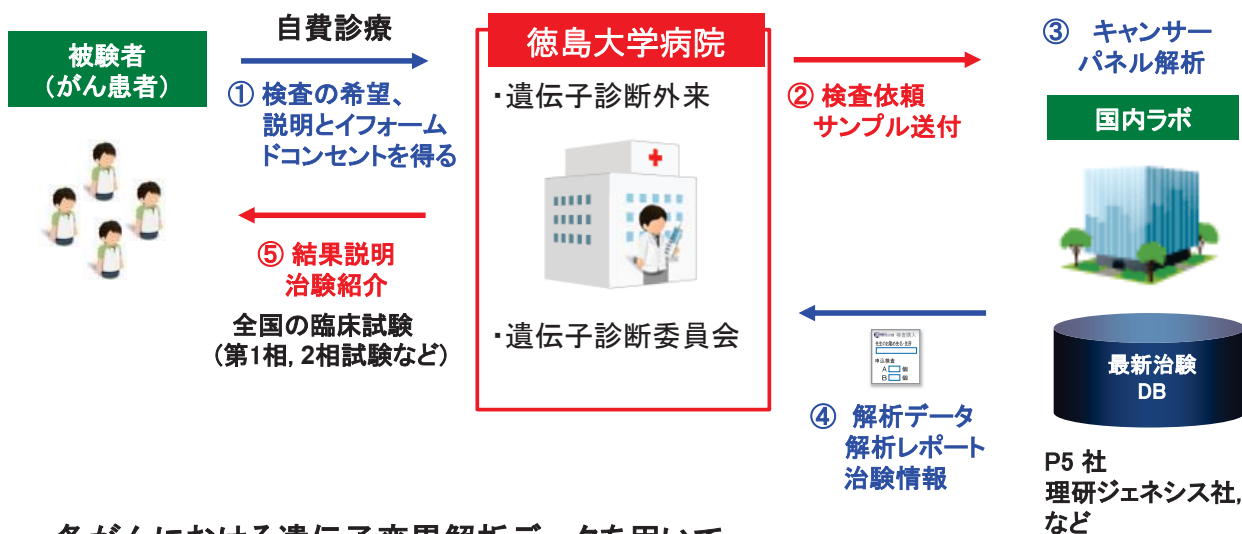


徳島大学における癌のゲノム研究及び個別化治療の研究



各がんにおける遺伝子変異解析データを用いて、

- ・それぞれのがんにおける遺伝子変異の頻度
- ・それぞれの遺伝子異常と分子標的薬の有効性との関係
- ・発がんにおける遺伝子異常の意義の検討
細胞株を用いた実験、
(遺伝子改変)動物を用いた実験

癌のゲノム異常に基づいた新しいがんの個別化治療

- ・第3期がん対策推進基本計画素案(今年)→ ゲノム医療の重要性
- ・がんパネルを用いた個別化治療 → 数年以内に先進医療化し、保険収載へ
- ・京都大学、東京大学、北海道大学、岡山大学、横浜市立大学、順天堂大学などが開始
- ・中核病院になるために重要
- ・内科、外科、産婦人科、泌尿器科、基礎医学などの多数のがん研究を行う科で共同して行う。
- ・研究費の使途
 - ・癌ゲノム解析と個別化治療の講演会及び説明会
 - ・遺伝子診断外来の立上げ
 - ・遺伝子診断委員会の立上げ
 - ・遺伝子異常の意義を解析:
培養細胞実験、動物実験